

アルミ製折りたたみ式ガントリークレーン

取扱説明書

【品番】ECA-23、ECA-40

この度は「アルミ製折りたたみ式ガントリークレーン」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

* 本書を必ず最後までお読みいただき、商品を正しく安全にお取り扱いください。

* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒729-0112 広島県福山市神村町字仁五下 4757-1

(M A I L) info@kikaiya.com

■はじめに

- 工具不要で簡単組立！アルミ製で軽量のポータブルガントリー。コンパクトに収納でき、キャスター付きで移動もラクラク。クレーン設備のない場所へ持ち運びできます。
- 商品が到着しましたら7日以内に開封して中身/動作をご確認ください。
付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。
- 本製品を本来の用途以外には使用しないでください。また、改造はしないでください。
- 改造により故障及び損傷した場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
- 調査を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 本書記載の内容は製品改良のため予告なく変更される場合があります、お届けした製品と本書記載の内容に一部相違がある場合がございます。

■免責事項

下記により生じた損害に関して、弊社または販売店は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 火災、地震、雷などの自然災害、第三者の故意または過失、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用した場合
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的損害
(事業利益の損失、事業の中断、積荷の損傷等)
- 本書記載の内容に反する取り扱い、改造や仕様範囲を超えて使用された場合
- 弊社が関与していない機器との組み合わせによる誤動作が生じた場合

■安全に関する表示について

ガントリーの構造や使用方法を誤ると、荷物の落下や感電など危険な状態になります。

運転、操作、メンテナンスを行う前に、この取扱説明書をよく読み、機器の知識、安全に関する情報、注意事項をご理解いただいた上でご使用ください。

 危険	取り扱いを誤った場合、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定され、その危険性が高い内容』のご注意
 警告	誤った方法で使用する、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容』のご注意
 注意	誤った方法で使用する『使用者が傷害を負うまたは物的損害を負う危険が想定される内容』のご注意

■製品使用上のご注意

警告

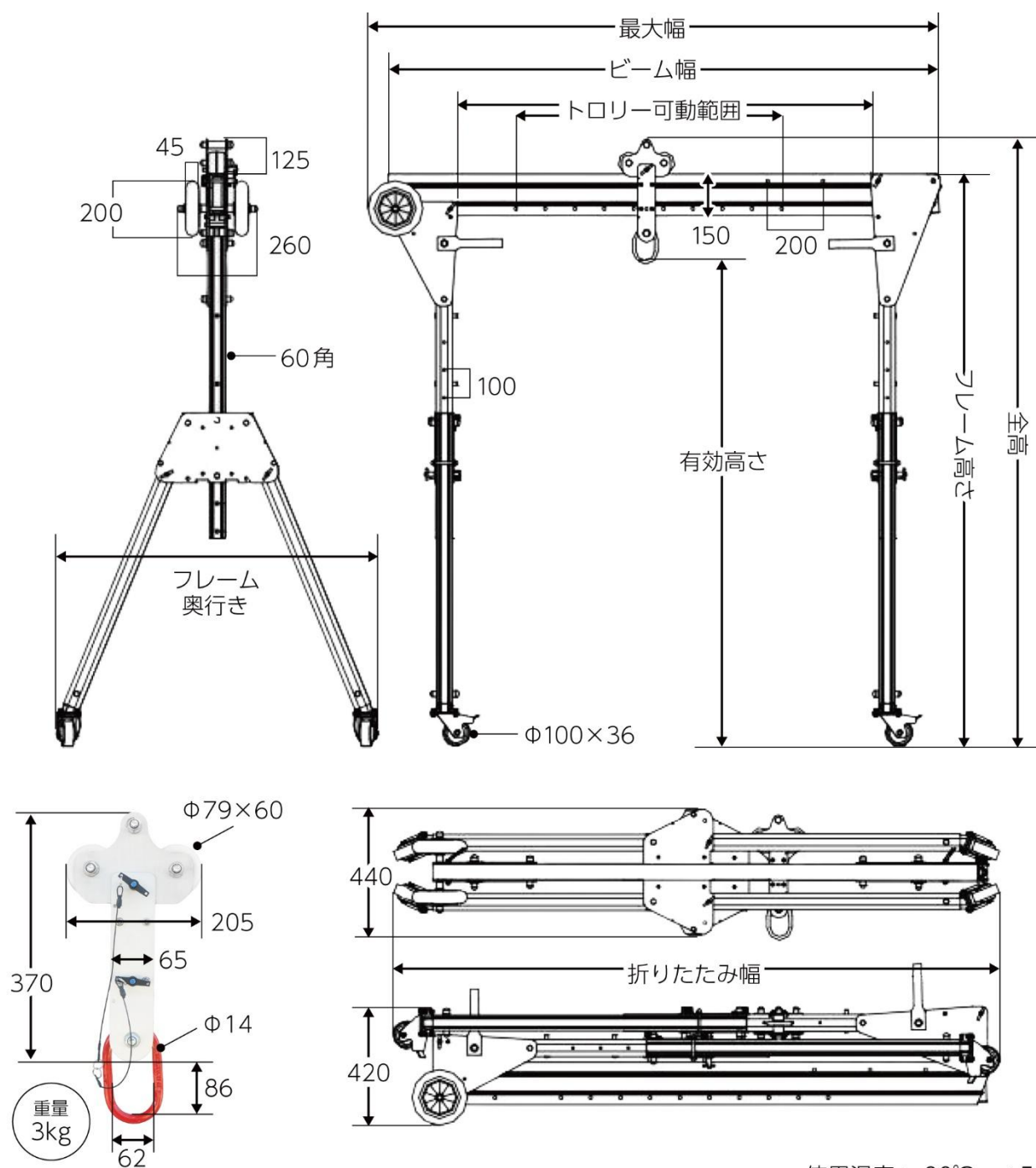
- 製品の使い方をよく理解してご使用ください。
- はさみこみや転倒に注意し、常に周囲の安全を確認してください。
- 素手で鋭利な箇所に触ると怪我をする恐れがあります。
- 作業に適した服装(作業手袋・安全靴・ヘルメットなど)でご使用ください。
- しっかりとした硬い水平な場所に設置してご使用ください。
- 製品および付属品を改造しないでください。
- 製品を運ぶ際は引きずったり落としたりしないでください。
- 日常点検を行い、保守管理者が定期メンテナンス(月次・年次)を実施し、記録を保管してください。
- 有機溶剤や揮発性粉塵が存在する場所、微粒子、酸、塩分が多い場所では使用しないでください。
- 強風時は屋外で使用しないでください。風により本体が転倒、荷が落下する恐れがあります。
- 作業しない場合は、ガントリーを折りたたむか室内に保管してください。
- 屋外で走行させない場合はガントリーを建物等に固定してください。
- 雨や油など、汚れた場合は、きれいに拭き取ってください。
- トロリーをご使用の際は、「最大使用荷重」を超えないでください。(電動は 1/2 でご使用ください)
- 組み立て時は本体の上にはしごを置かず、指定の部品を指定の場所で締結してください。
- 作業方法、作業手順を守り、無理のない作業姿勢で作業してください。
- 高所作業時はヘルメットと安全帯を着用し、高所作業台または踏台を使用してください。
- 積載中はガントリーを移動させないでください。また、荷物の下に入らないでください。
- 人を吊り上げたり、ビームの上などに乗らないでください。
- ガントリーの位置は、壁(または設備)と最も近い荷との安全間隔を考慮して決定してください。
- 作業中はキャスターを必ずロックしてください。
- キャスターロックは足で操作してください。手で操作すると、指を挟む可能性があります。
- 破損、異音、異常振動が発生した場合は、直ちに操作を停止し、保守管理者に連絡してください。
- 荷物を持ち上げるときは、チェーンを傾けず、荷物の真上に移動させてから持ち上げてください。
- お子様が手を触れない場所で使用・保管してください。

注意

- ガントリー本体の自重は非常に軽く、風の影響を受けやすいため、ご注意ください。
- 悪天候、高地、突風または中程度の風などの条件下ではガントリー本体に水平方向の荷重がかかり、安定性に影響を与える可能性があります。安定性に問題がある場合は、使用を中止してください。
- 組み立ての際は、適切な保護具(作業手袋、安全靴、ヘルメットなど)を着用してください。
- 障害物のない、溝のない床で組み立ててください。
- 組み立て中は、ビームとフレームの間に手を挟む危険があります。近くに手を置かないでください。
- トロリーは組み立て後に取り付けてください。付けたまま組み立て、折りたたみはしないでください。
- すべてのボルト状態を確認し、必要に応じて締め付けてください。

■製品仕様

【単位：約 mm】



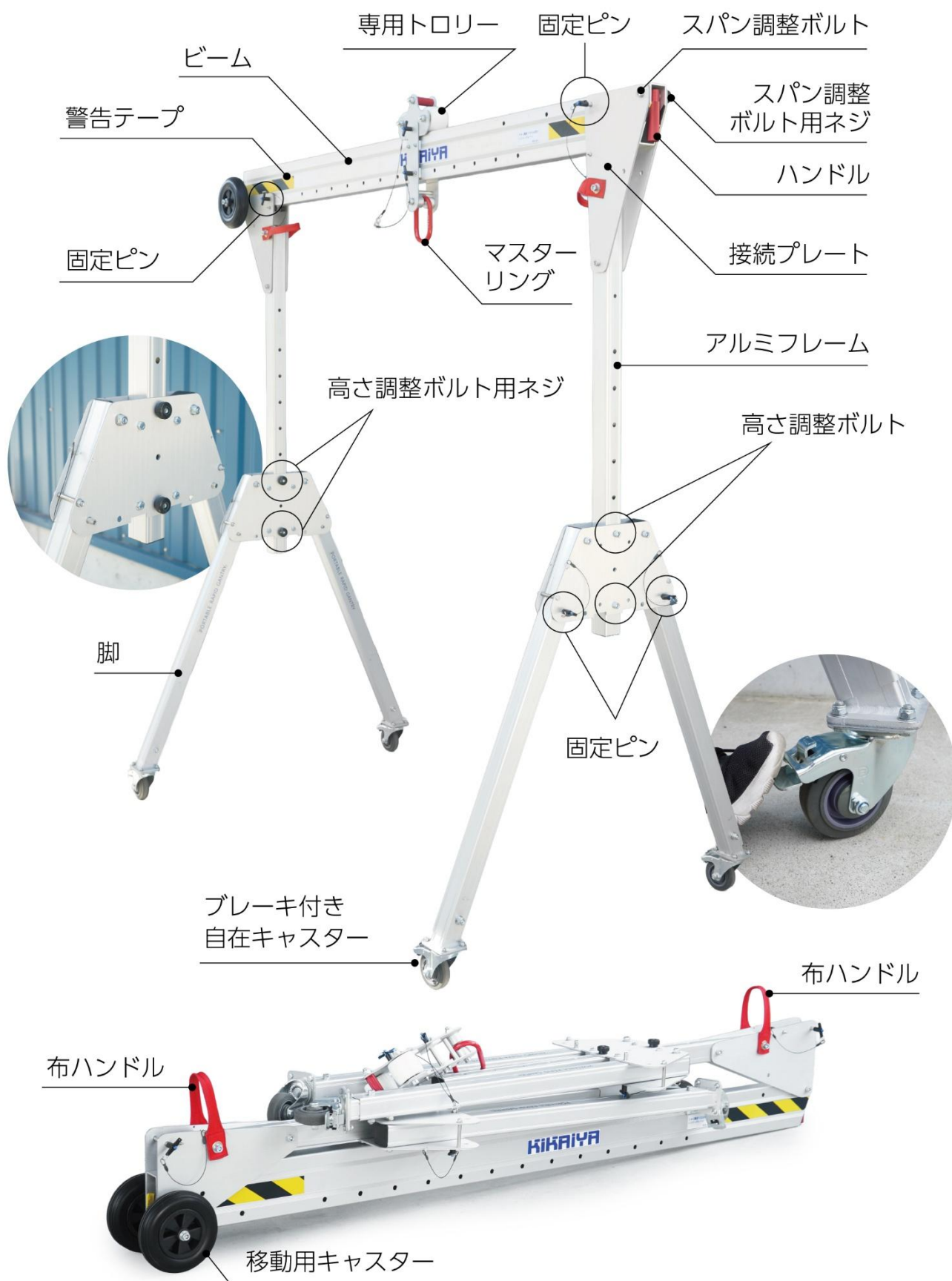
使用温度：-20℃～+55℃

品番	最大 使用荷重	ビーム幅	トロリー 可動範囲	有効高さ	フレーム 高さ	フレーム 奥行	全高	最大幅	折り たたみ幅	重量
ECA-23	400kg (200kg) [★]	2300	1200 1800	1545 2045	1876 2376	1158	2001 2501	2376	1158	35kg
ECA-40	250kg (125kg) [★]	4000	約2360 3500	2015 2915	2354 3254	1586	2479 3379	4076	4080	45kg

★電動巻上機使用時 ※最大使用荷重はトロリーのマスターリンクに吊る荷物の総重量です。※高さ・奥行きは目安です

■ 部位名称

※画像は全て ECA-23 です



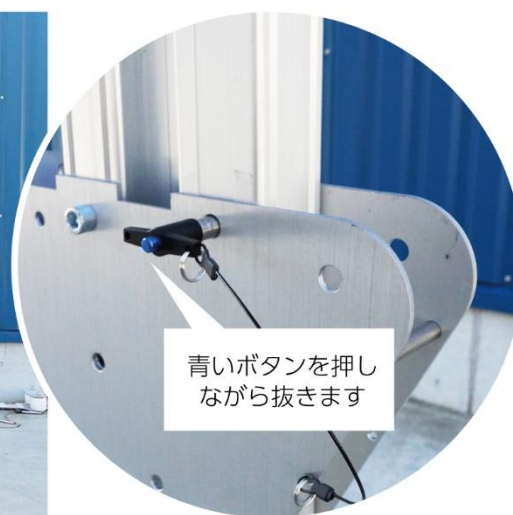
■組み立て手順

⚠ 組み立てる前に ⚠

- ☑ キャスターを全てロックしてください
- ☑ 組み立てる十分なスペースを確保してください
- ☑ 障害物のない、溝のない床で組み立ててください
- ☑ 作業に適した服装（手袋・安全靴・ヘルメットなど）を着用してください
- ☑ トロリーは組み立て後に取り付けてください
- ☑ 手を挟む可能性があるため、警告テープに手を置かないでください

【フレームの組立】

①脚を垂直に立て、固定ピンを外します



②脚を開いて固定ピンを差し込みます



※画像は全てECA-23です。ECA-40は安全のため2人で行ってください。

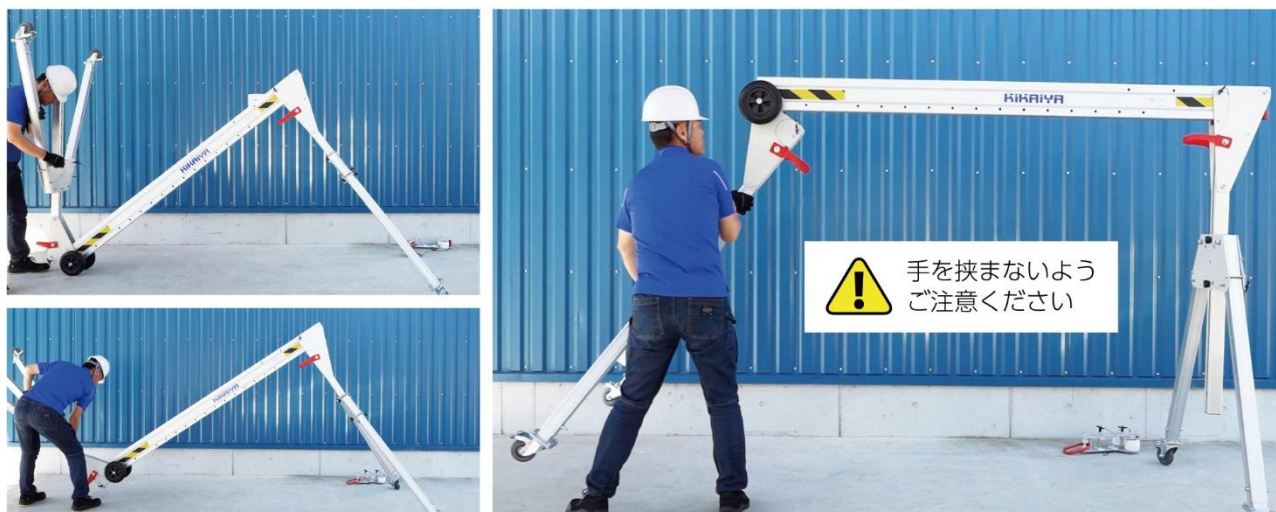
③接続プレートがビームの固定ピンにあたるまで回転させ、ビームの固定ピンを外します



④脚とフレームを直角にし、ビームの固定ピンを差し込みます



⑤反対側も同様に、脚を開いて立てます



【 トロリーの設置 】

①固定ピンを外してプレートを開き、
ビームに掛けます



②プレートを閉じ、
固定ピンを差し込みます

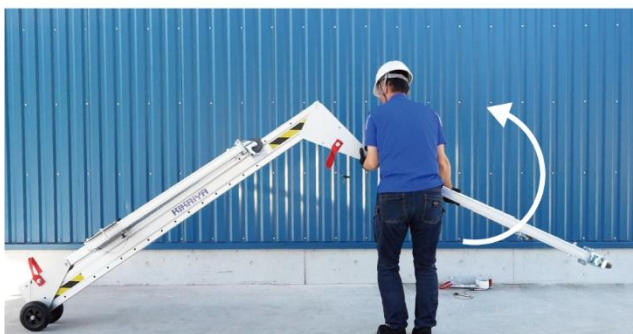


【 折りたたみ方 】 ※高さを最小にしてトロリーを外し、キャスターをロックしてください

①【組立の逆順です】 ビームの固定ピンを外し、脚をたたんで閉じる



②反対側も同様に、ビームの固定ピンを外して脚をたたんで閉じます

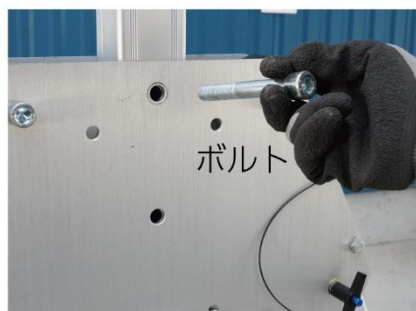


■調整方法

※画像は全て ECA-23 です

【高さ調整】

①高さ調整ボルトのネジを外し、フレームを持ちながらボルトを外します



②任意の高さに動かし、ボルトを差し込んでネジを締めます



【スパン調整】

①スパン調整用のボルトとネジを外して、ハンドルを外します

(ハンドルは保管してください)

②固定ピンを外します

③フレームを任意の位置に移動させます

④固定ピンとスパン調整用のボルトを差し込み、ネジで締めます



200mm
間隔で
3段階
調整可能



■使用方法

使用条件

- ☑ 屋内 / 屋外で使用できます
- ☑ -20℃～+55℃の範囲内でご使用ください
- ☑ 機溶剤や揮発性粉塵が存在する場所、または一般的な微粒子、酸、塩分が多い場所、屋外作業での強風時では使用しないでください
- ☑ 作業に適した服装（手袋・安全靴・ヘルメットなど）を着用してください
- ☑ 荷物を吊り上げた状態で、ガントリーを移動させないでください
- ☑ 吊り上げ作業は必ず垂直に吊り上げてください
- ☑ 最大使用荷重を超えないようご使用ください
- ☑ しっかりとした硬い水平な場所に設置してご使用ください

【 キャスターについて 】

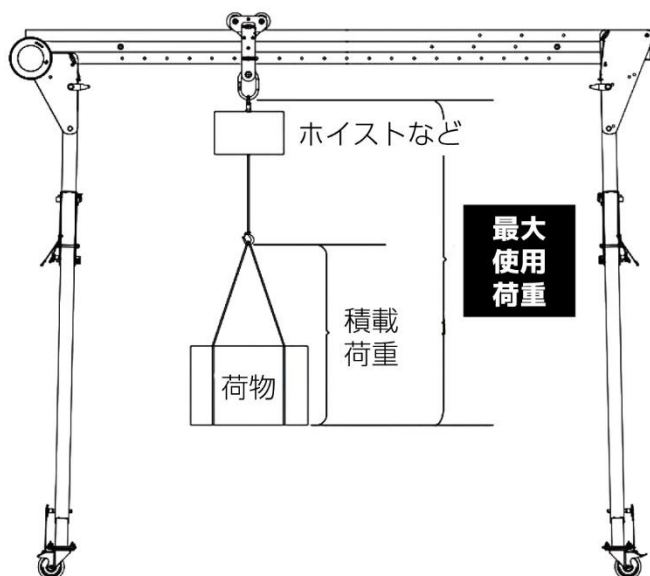
- ・移動時以外は必ずキャスターをロックしてください
- ・キャスターをロックする際は手で行わず、足先で踏んで操作してください



【 試運転 】

- ・キャスターを無負荷状態でロック解除し、ガントリー本体を移動させて、音やガタツキがないことを確認してください
- ・トロリーがビーム全幅まで移動し、音や部品の飛び散りがないことを確認してください
- ・無負荷状態で問題がないことを確認した後、ガントリーに負荷をかけて異常がないことを確認してください

【 最大使用荷重について 】



- 最大使用荷重は、トロリーのマスターリングにつける、ホイスやチェンブロックを含めた重量です
- 最大使用荷重が 400kg の場合、手動ホイス重量（仮に 7kg）を引いた 393kg が積載荷重です
- 電動巻上機を使用する場合は、最大使用荷重の 1/2 以下でご使用ください

【 操作 】

- トロリーのマスターリングにホイスやチェンブロックを装着してご使用ください



※画像はイメージです

■保守点検

【設置後点検】

- ・使用後は、全てのボルト締結部を点検し、緩みがある場合は増し締めしてください

【日常点検】

- ・無負荷状態で、以下の点検を毎日必ず実施してください
 1. ガントリーは軽く押すだけでスムーズに動くか
 2. ガントリー各部に変形、損傷、落下、緩みがないか
 3. 台車やキャスターから普段と異なる音がしないか
 4. 銘板が消えていたり、見えにくかったりしていないか

【定期点検】

- ・ガントリーは必ず定期的にご使用し、点検してください
 - 月次点検：作業頻度に応じて、月に1回以上点検してください
 - 年次点検：作業頻度に応じて、年間の作業頻度をご確認ください

【点検でのご注意】

警告

- ・ガントリーの定期点検は、保守管理者が行ってください。
- ・使用限度を超える部品、基準値を超える部品、純正以外の部品は使用しないでください。
- ・負荷をかけた状態での定期点検は行わないでください。
- ・ガントリー本体に梯子をかけないでください。
- ・定期点検中に異常が見つかった場合は、使用を中止し、「故障」と表示して、保守管理者にご相談ください。
- ・定期点検（月次、年次）が終了したら、試運転を行い、正常に動作することを確認してください。
- ・定期点検中は、主電源を切ってください。
- ・昇降作業には、昇降装置または足場装置をご使用ください。

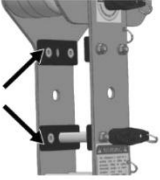
注意

- ・定期点検の際は「点検中」の表示を行ってください。
- ・作業内容に応じた保護具（保護メガネ、手袋など）を着用してください。
- ・作業方法、作業手順を守り、無理のない作業姿勢で作業してください。
- ・高所作業ではヘルメットと安全帯を着用してください。
- ・製品や床に付着した油や、雨などで濡れた場合は拭き取ってください。

その他

- ・この取扱説明書は、ガントリーの点検について説明しています。
製品に付属の取扱説明書に基づいて、巻上機の点検を行ってください。
- ・月次点検では、日常点検も併せて実施してください。
- ・年次点検では、月次点検と日常点検も併せて実施してください。
- ・点検中に、誤使用による異常を発見した場合は、作業者と作業に適した取り扱い方法を指導してください。

■点検項目

点検箇所	確認方法	使用制限または基準
トロリーの状態 	目視	ローラーにひび割れや変形がある
マスターリンクの状態 	寸法測定	摩耗許容差：直径の 10%
摩擦帯状態 	目視	破れており、欠落している
キャスターの状態 	目視	ひび割れや変形がある
	回転	スムーズに回転しない
	ロック	正常に機能せずブレーキも効かない
ボルト、ナット（全部品） および固定ピンの緩み 	目視	ボルトとナットが緩んで落ちいる
	目視	固定ピンが変形して落下する
本体（フレームまたはビーム） の状態	目視	へこみやひび割れがあり、 永久変形している
穴の状態	目視 寸法測定	楕円率 6% 以内
溶接の状態 	目視	ひび割れがある

■ 点検チェックリスト

点検日

点検者

点検箇所		チェック	内容と対処	処理完了日
トロリー	ローラーにひび割れや変形がないか	はい・いいえ		
	マスターリンクの摩耗は直径の 10% 以内か	はい・いいえ		
	摩耗帯は欠損や破れがないか	はい・いいえ		
キャスター	ひび割れや変形がないか	はい・いいえ		
	スムーズに回転するか	はい・いいえ		
	正常に機能してブレーキが効くか	はい・いいえ		
本体	ボルトとナットが緩んだり、落ちていないか	はい・いいえ		
	固定ピンが変形していないか	はい・いいえ		
	へこみやひび割れ、変形がないか	はい・いいえ		
	穴の状態は楕円率 6% 以内か	はい・いいえ		
	溶接部にはひび割れはないか	はい・いいえ		
その他	シールや警告ラベルが剥がれていないか	はい・いいえ		

メモ